

テーマの設定理由

夏の間、様々な物を凍らせて楽しんでいた遊びから、園庭で見つけた自然物を凍らせてみる遊びに発展した姿を踏まえ、身近な自然を遊びに取り入れることを通して自然との関わりを深め、興味・関心を広げたいため。

活動① ～凍った自然物を取り出そう！～

どうやったら氷の中から自然物を取り出せるか、思い思いの方法を試してみた。

環境デザイン

●用意したもの

事前に思い思いに拾った自然物を凍らせたもの、台となるテーブル木の枝（植栽の陰にそれとなく置いてみた）

探究活動の実践

●活動内容

氷の中の自然物を、どうやって取り出せるか一人ひとりが考え、木の枝で削る、水をかけるなど様々な方法で実践してみた。

●子ども達の様子

- ・花は時間が経つと枯れたり色が変わったりするが、氷の中の花は綺麗な色のままだと発見していた
- ・氷に木をこすりつけて、温めて氷を解かそうとしていた
- ・尖った木の枝の方が削りやすいことを発見していた
- ・花が解けた氷水と混ざり、綺麗な色水になったことを楽しんでいた

活動スケジュール（4歳児クラス）

活動内容	時間/回	人数/回
① 凍った自然物を取り出す	1時間	自由
② 自然物を使って色水遊びをする	1時間	自由
③ 園庭で宝物の石を探す	30分	自由
④ 発掘ごっこをする	1時間	10人ずつ程度



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・台となるものに色が無い方が、より自然物の色がわかりやすい
- ・キャンプ等の家庭での経験も、遊びのなかで活かされている
- ・氷の中をよく観察すると、キラキラしていたり、無数の線が入っていることに気付いていた

活動② ～自然物を使って色水遊びをしよう～

活動①の体験から、自然物を使って色水を作る遊びを深めていった。一人ひとりが思い思いの自然物見つけ、色水作りを行った。

環境デザイン

●用意したもの

透明カップ、透明の小皿、ピッチャー、草花、たらい、テーブル、透明バケツ、おたま

探究活動の実践

●活動内容

園庭にある草花を使って、自分なりにどうやったら色が出るか試し、こすったり絞ったりして水を加えながら色水を作った。

●子ども達の様子

- ・葉っぱをちぎって水に入れた後、かき混ぜてみている
- ・オシロイバナを指先で絞り、色を出していた
- ・水を足す量によって、色の濃さが異なることに気付いていた
- ・ピッチャーで色の変化を確認しながら、水を少しずつ足していた
- ・様々な草花で色水を作って並べ、色の違いなどを比べていた
- ・友達とジュースに見立て、ごっこ遊びを展開していた



保育者の振り返りと気付き

●園の保育者より

- ・容器が透明のカップや小皿だったので、色の違いが見えやすく楽しめていた
- ・ちぎる、絞る、こするなど、一人ひとり色の出し方を工夫して試して工夫していた
- ・色がなかなか出ない友達がいると、やり方を知らせたり、友達同士教え合ったりする関わりが見られていた

活動③ ～宝物の石を探そう！～

公園で一人ひとり見つけてきた石を、園庭の好きな場所に隠し、後日石探しを行った。

環境デザイン

●用意したもの

拾ってきた石に子ども達が絵を描いたもの、石の写真一覧表、スコップ、シャベル

探究活動の実践

●活動内容

公園で拾ってきた石に、子ども達がそれぞれ絵を描き、園庭の好きな場所に埋めて隠した。翌日みんなで石探しを行った。

●子ども達の様子

- ・見つけた石を表と見比べていた
- ・絵がかいていない石を見つけると、「雨で絵が消えたのかも！」と話していた
- ・三角、丸、平べったいなど、石をよく観察して形を見ていた
- ・スベスベ、ザラザラなど、石の感触の違いに気付いていた
- ・黒っぽい、線が入っているなど、石によって色や模様が異なることを発見していた



保育者の振り返りと気づき

●園の保育者より

- ・思いのほか深く埋まっていた石もあり、普段使用していないシャベルなども活用できた
- ・描いた石の写真一覧表と見比べることで、発見した喜びや、次にどれを探そうかなどの期待がもてていた

●専門家(講師の先生)より

- ・絵を描いて石を探す遊びを通して、よりじっくりと石を観察する行動につながっている
- ・子ども達は「硬い」「ツブツブ」「ひんやり」など様々な角度から石という概念を作り上げているので、石との出会いを豊かにする経験は大切である

活動④ ～発掘してみよう！～

実際に用具を使って、石膏のプレートから化石を発掘してみる

環境デザイン

●用意したもの

化石の入った石膏プレート、木製トンカチ、化石を入れる袋
化石の一覧表と見本クッション材を置いた机

探究活動の実践

●活動内容

化石が隠れているプレートを一人ひとり木製トンカチで割り、
発掘ごっこを楽しむ

●子ども達の様子

- ・発掘した化石を嬉しそうに一覧表と見比べていた
- ・化石が何時代の物かを知り、古代に興味を膨らませていた
- ・アンモナイトの化石を見て、カタツムリと似ていると話しながらじっくり観察していた
- ・サメの歯の化石を見て、尖っている部分を見て、「この歯で食いちぎるのか・・・」と友達同士話し合っていた
- ・なかなか化石が出てこない時も、根気強くトンカチをたたいたり、友達と応援し合ったりしていた



保育者の振り返りと気付き

●園の保育者より

- ・一覧表や見本を見ながら、友達と化石の形や色、大きさなどを比べることで、よりじっくりと丁寧に観察する姿が見られていた
- ・化石に触れることで、見たことのない古代に思いを馳せながら、古代の生き物に対して興味が深まっていた
- ・化石を観察することで、より深く生き物の特性に気付いていた
- ・プレートが割れても化石が出てこないこともあり、根気が必要とされる作業だが、化石を見つけない期待から、粘り強く取り組む姿につながっていた